

長崎県立大学 経営学部 国際経営学科
海外ビジネス研修 概要

1. 目的：アジアを中心とした海外ビジネス研修を通じて、グローバルな視点を持つとともに、本県の活性化に繋がるような即戦力となるグローバル（Global+Local;「地球規模で考えながら、自分の地域で活動する」）な人材の育成を目的とする。
2. 経緯：海外ビジネス研修は、2014年（平成26年）からの試行を経て、2018年（平成30年）に国際経営学科の3年生39名が第一期生として、約3週間の海外研修に臨んだ。2020年（令和2年）～2022年（令和4年）は、新型コロナの影響により中止したが、2023年（令和5年）より再開し、今日に至る。
3. 研修国：ベトナム（ハノイ、ダナン、ホーチミン）、タイ（バンコク）、マレーシア（クアラルンプール、イポー）、インドネシア（ジャカルタ、バンドン）、カンボジア（プノンペン）、国内（ハウステンボス）
4. 渡航期間：8月16日（土）～9月7日（日）【約3週間（23日間）】
※研修先の都合等により研修期間が若干前後した地域もある。
5. 参加者：経営学部国際経営学科3年生 50名
※TOEIC730点以上の取得者に参加を認めている。
 - ベトナム29名（ハノイ12名、ダナン5名、ホーチミン12名）
 - タイ（バンコク）7名
 - マレーシア7名（クアラルンプール6名、イポー1名）
 - インドネシア4名（ジャカルタ1名、バンドン3名）
 - カンボジア（プノンペン）1名
 - 国内（ハウステンボス）2名
6. 研修成果（研修生の声）
 - 海外で働くことを実感し、その厳しさや醍醐味を感じた。
 - 英語の重要性を再確認した。
 - 国際的に活躍したいとの希望を持った。
 - 外から日本を見ることが出来た。
 - 研修を乗り越え、自信と勇気を持つことができた。
 - チームワークの大切さや、役割分担の重要性を学んだ。
 - 体調管理の大切さを知った。
 - 今後の就職選択に役に立った。
 - 異文化理解に繋がった。 など。

以 上